

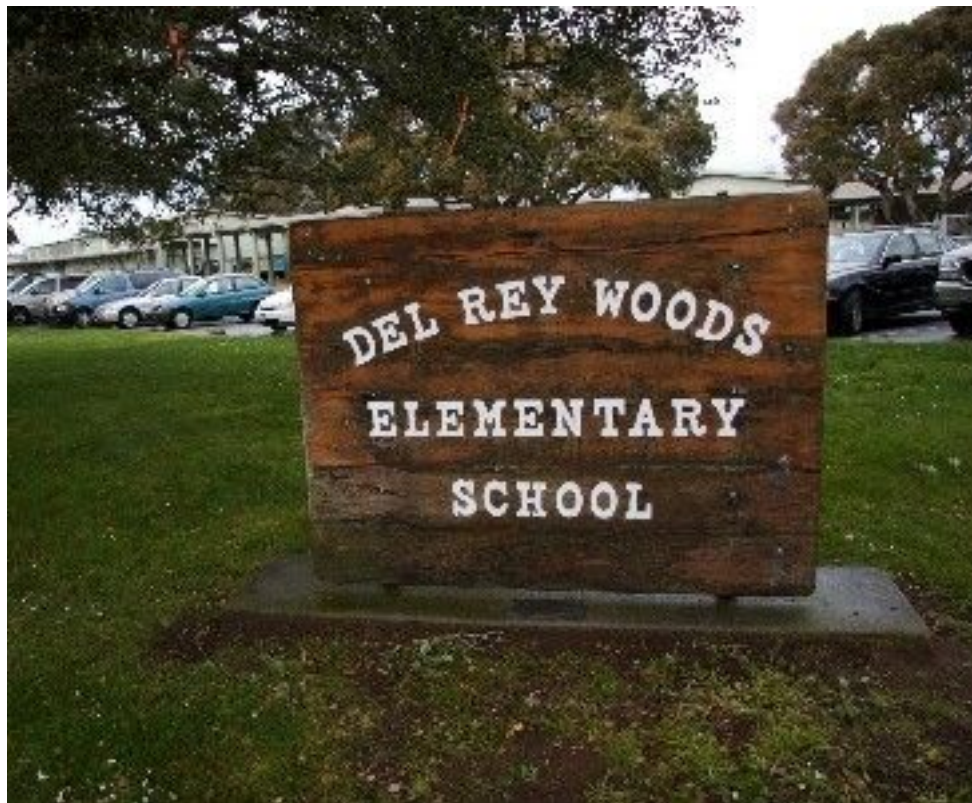
Service Learning Final

JAPN 320S
Dr. Saito-Abbott
Fall 2017
December 7, 2017

Daniela Villanueva
Lillian Asbury
Miki Fujii
Kotone Ueda

Table of Contents

- 活動内容の要約1、2、3
- 生徒たちが感じたこと
- 私たちが感じたこと
- SLO 1
- SLO 2
- SLO 3
- SLO 4



Summary of Activities 1

妖怪について:

いろいろな妖怪の名前と種類

全てのものには魂が宿る - なんでも妖怪になる事が出来る

子供達は自分のオリジナルの妖怪を作る

オリジナル妖怪について考えて

クラスに自分のオリジナル妖怪を説明

(月曜日は教え、水曜日は自分のオリジナル妖怪を作った)



Summary of Activities 2

日本の食文化について(おにぎり):

アメリカと日本のお昼ご飯の比較→日本のお弁当について

「いただきます」と「ごちそうさま」の意味

おにぎり作り

うめぼし、ふりかけ、ゴマ、海苔、塩

好きなものを具材にする事ができる - サンドイッチ、トルティーヤとの類似点



Summary of Activities 3

お正月について:

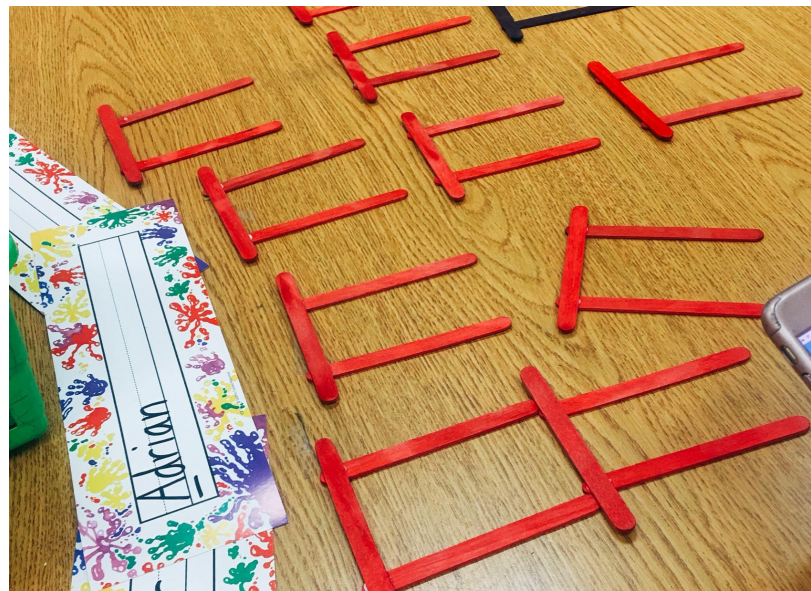
クリスマスカードの代わりに年賀状を送る

干支のストーリーの紹介 - 自分たちの干支がどれかを知る

神道についての簡単な説明 - 八百万の神、日本オリジナルの宗教である

神社でのお参りの仕方 - 教会での礼拝との類似点

おみくじ、絵馬と鳥居について



Student Examples

生徒は難しいレッスンをしたい。しかし、時には学生は理解していないか、レッスンをするための十分な時間がありません。学生はメモを書くのが好きですが、勉強ではありません。彼らは物語を聞き、写真を見るのが好きです。ゲームを作成するのは難しいです。理解の評価は実証するのが容易ではありません。授業に来なかった学生は、その後のレッスンを理解できませんでした。

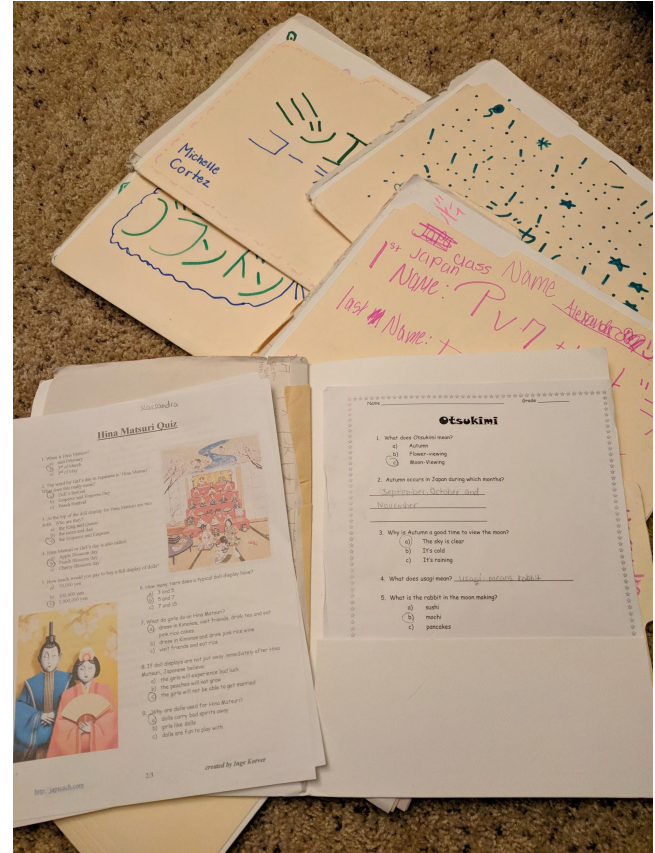
生徒の好きなレッスンの学んだこと:

フォルダとネームタグのデザイン*

ゲーム大会、絵を描く

すきじゃない:

グループでクイズ、ワークシート



私達がこの経験から学んだこと

Miki:

- ・子供たちとの信頼関係を構築することの大切さ
- ・私たちの活動が、子供たちにとって異文化に触れる良い機会になった
- ・ほとんどの生徒が英語ではなくスペイン語を話す。
→それぞれの文化を比較する機会を提供することで、子供たちの自他尊重の心を養うことができる

Kotone:

- ・自国の文化(日本文化)の見つめ直しと再発見 - 知っているようで知らない
- ・異文化理解において外国語学習は重要な役割を持つ - 言語能力以外での役割
- ・幼い頃から異文化について触れる事で自身の世界を広げる事ができる - サービスラーニングは自分たちの知識の押し付けではなく『架け橋』である

私達がこの経験から学んだこと

リリアン:

新しい文化を学ぶことは本当に世界を開いています。生徒達はあまり他の国の事について知らないでしたけど、思ったより興味を持っていました。子供が想定外で難しいことができると学びました。

ダニエラ:

文化は社会の重要な部分です。外国語を学ぶと新しい文化について簡単に学べます。すべての人々は教育へのアクセスが必要です。マイノリティの援助は利用可能ですが、意欲が困難です。

SLO 1 Self and Social Awareness

Students deepen their understanding and analysis of the social, cultural and civic aspects of their personal and professional identities.

- a) Define, describe, analyze and integrate the concepts of individual social and cultural group identities and the concepts of social privilege and marginalization.
- b) Demonstrate critical analysis of their own assumptions, values, and stereotypes, and evaluate the relative privilege and marginalization of their identities.

SLO 1

日本/日本人に対するステレオタイプ: モントレーの外に世界があることを理解するために、日本の文化を学びます。学期の初めに、日本についてのステレオタイプを信じていました。多文化の話題を学ぶことは、学生の外国人についてのステレオタイプを破壊します。日本と他の文化を関連付けて勉強する事で類似点・相違点を知る事が出来た(勝っている、劣っている文化はないという意味を含める事が出来た。)

生徒の問題の例:

毎日着物を着ている → 日本には洋服や着物など様々な服の種類がある

毎日お寿司を食べている → 日本人は朝食、昼食、夕食に西洋料理を食べることがある

ハンバーガーを食べない → 日本にはたくさんの料理がある

サッカーをしない → 日本人はスポーツが好き

子供達は日本がどこにあるか知らない → 日本は中国じゃない

SLO 2 Service and Social Responsibility

Students deepen their understanding of the social responsibility of professionals in their field or discipline, and analyze how their professional activities and knowledge can contribute to greater long-term societal well-being.

- a) Articulate the relationship between individual, group, community and societal well-being.
- b) Analyze how individual and professional actions contribute to short-term well-being and/or greater long-term societal well-being.
- c) Develop a critical understanding of ethical behavior in the context of their profession or discipline with regard to issues of societal well-being.

SLO 2

日本語専攻として:

- ・日本語/日本文化の教育活動(SL activityもその一環) - コミュニティの世界を広げ、ステレオタイプを壊す事で可能性を増やす事ができる
- ・自分の住んでいるコミュニティの外にも世界が広がっている事を知る事で、外に目を向けるきっかけを作る事ができる - 将来の選択肢を広げる事で個人だけでなく、その人が所属するコミュニティの成長を期待する事ができる
- ・違いだけに目を向けるのではなく、類似点にも目を向ける事で自身の文化に対する自身を持つ事ができる - 相手を羨むだけでなく、自尊心を育む事で自身の文化やコミュニティの発展を目指す事が出来る

SLO 2

国際関係学専攻として:

- ・ act locally, think globally - 現地の問題点などを理解した上で自国の文化の強みなどを生かして現地のニーズにあった活動を行う
- ・ 自国のみならず、他国での問題にも目を向けてNGOなどの活動の促進・参加 - 出来るだけ異なる文化や人種の人と協力し、物事の捉え方に対する偏見を減らす。
- ・ 外のコミュニティとの関わりを持つことで、興味関心を持つだけでなく自分の現状に疑問を持つきっかけになる - 自分の『今』をただ受け入れるだけでなく、『発展』させる事が出来る事がある事を知る事ができる

SLO 3 Community & Social Justice

Students evaluate how the actions of professionals and institutions in their field or discipline foster both equity and inequity in communities and society.

- a) Examine the demographics, socio-cultural dynamics and assets of a specific community through a social justice framework.
- b) Analyze a community issue(s) in the context of systemic inequity, discrimination and social injustice.

SLO 3

コミュニティスキャン

...子供たちの住んでいる環境や状況を知ることができる→より良い関係づくりに繋がる

・学校のすぐ近くに教会／家の庭や駐車場に住人がいる

→大人の目が届きやすい環境

・ヒスパニック系が多い地域→異文化に触れる機会が少ない

・駐車場にとまっている車→決して裕福ではない

次回までの宿題を出したとき

→家庭環境の違い、親の教育に対する意識の違い

→放課後のCPOの活動



SLO 4 Multicultural Community Building/Civic Engagement

Students learn from and work responsively and inclusively with diverse individuals, groups and organizations to build more just, equitable, and sustainable communities

- a) Demonstrate intercultural communication skills, reciprocity and responsiveness in service work with community.
- b) Enter, participate in, and exit a community in ways that are sensitive to systemic injustice.
- c) Develop and implement personal, professional and institutional strategies, policies and/or practices that work towards creating greater equity and social justice in communities.

SLO 4

臨機応変な対応: レッスンプラン通りに授業が進まない事もある

子ども達の様子を観察してその時の状況にあった活動

対象となる生徒の年齢、興味、文化的バックグラウンドにあった方法での活動
ex)話し方、取り入れる例

違いを排除せず受け入れる:

違いがある事を認める事で初めてそれとどううまく関われるかを考えられる

コミュニティの現状を知る:

ニーズにあった支援をコミュニティと協力して行う

”全てを提供するのではなく、足りていない部分を埋める”というスタンス

Thank You 😊

